

【 会 議 録 】(概 要)

日時:平成 21 年 2 月 21 日 (土) 15:00 ~ 17:00

会議名	越谷市自治基本条例審議会 第 3 部会 第 1 4 回会議	場所	越谷市役所本庁舎 5 階 第 4 委員会室
件名 議題	協議事項 (1) 素案の作成について		
資料等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 無		
出席者	出席委員 樋口部会長、飯島副部会長、植竹委員、桜井(隆)委員、亀井委員、松本委員、江利川委員、 原田委員(8 名) 欠席者 池島委員(1 名) 事務局 立澤企画課長、青山企画課主査、野沢同主任、水口同主事(4 名) 支援者: 特定非営利活動法人越谷 N P O センター(1 名) 傍聴者 なし		
内 容	別紙 主な意見等のとおり		
合意・決定事項等 ・「公益通報」、「市政運営の原則」、「財政運営」、「組織」、「危機管理」及び「推進会議」について検討し、修正した。			

主な意見等

- ・簡素にするあまり、そぎ落としすぎていないのかを検討しなければならないのではないだろうか。
- ・具体的な内容を指摘する記述がほしい。
- ・条文の中味が分かり易いことが求められる。解説を読まなければその趣旨が分からないのでは困る。

(公益通報について)

- ・市職員の責務に入れたほうが良いと思う。
- ・黙認した場合、市政の透明性が損なわれるので、市民としては職員に対する義務としておきたい。
- ・公益通報という言葉を外して市民のために残すべきであると思う。残す場所は議論が必要である。
- ・見出しを再検討するが、このまま条文を残すこととする。

(市政運営の原則について)

- ・第18条5項は修正しない方が良い。分権社会では当たり前のことである。
- ・「市民の要望」というと多岐に渡りすぎる。解釈が難しくなる。
- ・「市の課題や市民の要望」を「市政の課題等」とするのはどうか。
- ・公共の福祉全体に繋げる言葉を選ぶほうが良いと思う。2項の「多様な市民の」とあるが、「多様」とは何か正確なところが分からない。「多様」は使用しなくとも良いのではないだろうか。
- ・「多様」は残すほうが良い。現在は子育て支援や高齢者福祉など要望の多いものは通るが、少数意見も取り上げるという視点が必要であると思う。

(財政運営について)

- ・「自主財源の確保」については、骨子案から素案までの過程で削除した経過がある。
- ・自主財源とは新税を意味しているのではなく、市税の確保を意味している。
- ・「自主財源の確保」という文言は市民に対して圧力を感じる。
- ・「市有財産の活用」とあるが市には活用する程の財産はないと思う。

(組織について)

- ・組織とは何を指すのか。
- ・組織は市役所内の組織のことである。
- ・主語は政策会議の提案とおりで良いと思う。
- ・主語を政策会議の提案どおりに修正する。

(危機管理について)

- ・危機管理は行政がやれば良いという問題ではない。
- ・危機管理の範囲は食品管理、衛生、自然災害、テロ、事故などの幅広い危機を指す。
- ・安全性の確保という視点から、努力義務で良いと思う。

(推進会議について)

- ・「推進会議」は常設型のものを想定している。
- ・「推進会議」はどのような条例を作ったかなど、具体的にチェックすることになると思うので、解説でその設置目的に触れるようにした方が良い。
- ・「推進会議」の役割と権限については、役割が明確でないと、その権限が左右されることになる。
- ・「推進会議」には、3点くらいの内容があると思う。1つは行政が他の条例の見直しや新しい条例の策定をきちんとやってほしいということ、2つは、推進会議の審議会構成委員について、3つは、参加と協働の具体的な仕組み作りについてである。
- ・「推進会議」の存在を明確化し、「推進会議」に大きな権限を与えるのではなく、条例の趣旨や内容を普及することが目的になる。